

第55回 外国人による日本語弁論大会
THE 55TH INTERNATIONAL SPEECH CONTEST IN JAPANESE

〈主催〉

一般財団法人国際教育振興会／国際交流基金(ジャパンファウンデーション)／松江市

〈後援〉(一部申請中)

外務省／文化庁／松江市教育委員会／松江商工会議所／島根県／島根県教育委員会
NHK／NHKエデュケーショナル／日本語教育学会

〈協賛〉(予定)

カルピス株式会社／キッコーマン株式会社／専門学校新聞社／にほんごの凡人社／リコージャパン株式会社／留学生新聞／ホテル一畑

日本語弁論大会55年の歩み

一般財団法人国際教育振興会で毎年開催している事業の一つに外国人による日本語弁論大会があります。この大会は1960年にその第1回を開催、以来、1997年の第38回大会まで国際教育振興会が単独で主催、会場は当時東京・有楽町にありました朝日新聞社講堂で始まり、その後は虎ノ門の国立教育会館(通称、虎ノ門ホール)で開催しておりました。1998年(第39回大会)から国際交流基金および地方開催都市との共催となり今日に至っております。以下、地方開催からの大会結果をご紹介します。

| 開催年回/開催地 | 会場 | 外務大臣賞 | | 文部科学大臣賞 | |
|--------------------|--------------------------------|---------------------------|----------------------------|--------------------------|-------------------------|
| | | 演目 | 受賞者/出身地 | 演目 | 受賞者/出身地 |
| 1998年 第39回 岐阜市 | 長良川国際センター | 単身赴任で学んだこと | マーク アンダーソン アメリカ | 食文化-国際交流への近道 | ヤティーン マスタカル インド |
| 1999年 第40回 福岡市 | アクロス福岡・福岡シンフォニーホール | 違うってことは素敵ジャン | ラズモフスカヤ オクサナ ロシア | 忘れ得ぬ日 | リ テイ 中国 |
| 2000年 第41回 長崎市 | 長崎ブリックホール | みそのみそくさいは 上みそにあらず | クニユガ エヴァンス ギタヒ ケニア | 垢擦りしないでください | バク ソンヒ 韓国 |
| 2001年 第42回 上越市 | 上越文化会館 | 心は日本人 | ジェイソン ハンコック アメリカ | 日本で流した二回の涙 | チョ スンヒョン 韓国 |
| 2002年 第43回 大阪市 | 大阪国際交流センター大ホール | 国際交流と書いて エンターテインメントと読む | レイモンド タン リーフ マレーシア | 日本の高齢社会から学ぶもの | チン シャオシェン 中国 |
| 2003年 第44回 札幌市 | 札幌コンベンションセンター | ぼくの大好きがまぐるに なった理由 | ザイヌル アクラミン マレーシア | なくそうバリア、ふやそう心の バリアフリー | キム ミョンフン 韓国 |
| 2004年 第45回 高知市 | 高知市文化プラザかるぼーと | さとうきび畑の唄 | キム シンエ 韓国 | 心の故郷 | ピシャール バルマ インド |
| 2005年 第46回 米子市 | 米子コンベンションセンター | 縁側から始まる日韓交流 | ハ アラン 韓国 | 一服のお茶から | ジョアン オブライアン アイルランド |
| 2006年 第47回 下関市 | 下関市市民会館 | 日本における豊かさとは? | ラリット マヤ マハット ネパール | 心のスイッチを押してください | ミン テイル 韓国 |
| 2007年 第48回 泉佐野市 | 泉佐野市立文化会館泉の森ホール | 関西弁は第二日本語 | キム ヨハン 韓国 | 僕の生まれたところは | イ セフン 韓国 |
| 2008年 第49回 川越市 | 川越市市民会館 | 若者・馬鹿者・よそ者 | サミーラ グナワラデナ スリランカ | あなたは「大変」ですか | フェレシテ ナジミ イラン |
| 2009年 第50回 函館市 | 函館市市民会館 | 北の国で学んだ三つのこと | ドミニク バゲンダ カスツジャ ウガンダ | 調べてガッテン日本語の「はい」 | シャボヴァーロヴァ スヴェトラナ ロシア |
| 2010年 第51回 新潟市 | 新潟市民芸術文化会館りゅうとびあ | ソコ、読まな! | ヨウ ロ 中国 | 私の韓国語奮闘記 | キム ギョンヒ 韓国 |
| 2011年 第52回 町田市 | 桜美林大学ホール (つくば市開催予定が震災のため変更) | 私は「脅威の国」から来た娘? | リ メイギョク 中国 | 私の異文化体験-愛の伝え方 | タウン ラ ミャンマー |
| 2012年 第53回 別府市 | 別府市ビコンプラザシンフォニーホール | 日本の田舎に学んだもの | 山崎ランサムどりあ アメリカ | 日本人の若者の「やばい」言葉遣い | チャンビンソンミッド バカム ラオス |
| 2013年 第54回 北九州市 | 北九州芸術劇場大ホール | 気になる「気」 | ワアハボ ナザルデンビン ワンアジ マレーシア | ホームレスに学んだ日本人の精神 | レイラ ミュキ アンラク ブラジル |

ここ数年、応募者数は100名を超え、予選審査で決勝大会出場者を選出しておりますが、年々、応募者の日本語能力が向上し日本人ではないか、と思わせるほどの話し方をする出場者が増えております。外国人の日本語習得の高さをますます実感いたします。

2014
The 55th International Speech Contest in Japanese

聞いてください、私たちが見た日本、感じた世界。

第55回 外国人による
日本語弁論大会

— 小泉八雲没後110年記念 —



第54回大会受賞者のみなさん

実施要領

応募締切

2014年4月10日(木)

日時

2014年5月24日(土) 午後1時開始

場所

松江市総合文化センター「プラバホール」

〈主催〉

一般財団法人 国際教育振興会



国際交流基金



開催の趣旨

急速にグローバル化が進む現在、私たちが住む地球の豊かな発展には、国籍や文化の違いを越え、建設的な意見交換を行いながら、より一層の相互理解を深めることが大切です。日本の社会や文化に日頃から深く接している世界各国の人々に、日本語でスピーチをする機会を提供することは、それを聞くすべての人に対して、そして発表する本人に対しても、新たな視点を与えてくれる好機です。違いを知り、違いを楽しむことこそ、人類の平和共存・発展へ繋がるという想いから、1960年より毎年「外国人による日本語弁論大会」を開催、1998年(第39回大会)からは毎年、各都市で開催、2014年は国際文化観光都市島根県松江市で開催いたします。

実施要領

1. 日時および開催場所

2014年5月24日(土)午後1時開始
松江市総合文化センター「プラハホール」
〒690-0017 松江市西津田6丁目5番44号
http://www.web-sanin.co.jp/matsue/plover

2. 演題および制限時間

- 演題は自由、但し伝導、宣伝に類するものは不可で未発表作品に限る
- 制限時間は6分以内、時間超過は減点の対象となる
- 過度な演出、演技および小道具の使用は禁止

3. 出場資格

- 次の①～③の条件を同時に満たす方
- ①母語が日本語以外であること
 - ②大会当日の年齢が満15歳以上であること
 - ③過去の本大会で外務大臣賞または文部科学大臣賞を受賞していないこと

4. 審査基準

- ①主題の良否(聴衆の興味と関心を呼ぶ時宜を得た主題であり、これを論ずることに意義が認められるか)
 - ②事例の適切さ(取り上げられる事例は主題を説明する上で十分かつ適切なものであるかどうか)
 - ③内容の構成(独自の見方、考え方が適切に表現され、主題が論理的かつ効果的に整然と展開されているか)
 - ④語句の使い方(主題、内容にふさわしい語句を選んでいるか、その発音、抑揚文法は適切か)
 - ⑤話し方(表情、動作などが自然で、好感が持て、かつ説得力があるか)
- 本選では以上の5項目を中心に審査を行います。
※但し、予備審査の段階で日本語の能力、運用技術だけでなく、日本語の学習歴、学習環境、個人の資質および本大会の開催主旨である国際理解への社会的効果を参考として審査の対象とする場合もあります。

5. 出場者決定

スピーチ原稿およびスピーチの録画映像を4.の審査基準の①～④に基づき予選審査を国際教育振興会内で行い本選出場者10～12名を決定します。その結果は**2014年4月末日**までに直接、応募者に通知します。

6. 応募方法および応募締切

- ①所定の申込用紙に記入(応募用紙は国際教育振興会のホームページからダウンロードできます。)
 - ②スピーチを録画したメディア
 - ㊲日本語で氏名および演題を言ってから、スピーチを始める。
 - ㊳スピーチは6分以内に必ず終える。
 - ㊴1スピーチにつき1枚(個)の記録メディアに記録すること。
 - ㊵収録は、正面からスピーチをしている顔が映るようにすること。
 - ㊶DVD-Video形式での録画、記録メディアはDVD-R、コピープロテクトを施さないで、ファイナライズしてください。
 - ㊷PC/スマホのウェブカメラなどを利用して録画の場合、ファイルの拡張子をwmv、mov、flv、mpg(mpeg)、aviのいずれかとしてください。データファイルは、DVDまたは、SDカード、USBメモリなど記録メディアに記録し、必ず郵送にてお送りください。また同様にコピープロテクトを施さないでください。
 - ㊸録画環境が身近に無い方は、音声のみを録音したメディアで構いません。
- *再生時の不具合などがあった場合、再送などをお願いすることがありますので、オリジナル映像/音声は必ず

- 応募者各自で保管してください。
 - ③スピーチの原稿(A4サイズ用紙に出力またはダブルスペースで書いたもの)2部
 - ④顔写真1枚(3cm×4cmで顔がはっきりと写っているもの)、申込書に貼る(念のため写真の裏に記名してください)
- 上記①～④をまとめて応募書類送付先まで郵送願います。(応募書類などは返却いたしません)

【応募書類送付先】

〒160-0004 東京都新宿区四谷1-21
国際教育振興会
「外国人による日本語弁論大会」係宛て
応募締切日: **2014年4月10日(木)までに 必着**のこと。

注記:一人で複数のスピーチの応募はできません。また応募したスピーチの内容を本選で変えることはできませんのでご注意ください。(不適切な用語または事実誤認など、若干の訂正は認めますが、その場合は国際教育振興会弁論大会事務局まで連絡して下さい)

7. 本大会表彰(予定)

- ◆最優秀賞 外務大臣賞状・賞杯
 - ◆優秀賞 文部科学大臣賞状・賞杯
 - ◆奨励賞 主催団体賞状・賞杯
 - ◆会場審査員賞 賞状・楯
- (当日来場者の投票で最多得票を獲得したもの)
その他、副賞および参加賞(主催・協賛団体提供)

8. その他

- ①交通費に関して:
本大会(本選)への出場者に、松江市までの交通は主催者が手配いたします。但し原則として公共交通機関のみで、タクシー代は個人負担とします。
- ②宿泊に関して:
本大会(本選)への出場者には主催団体が宿泊(前日と当日)を手配します。費用は主催団体の負担とします。
- ③著作権に関して:
スピーチの著作権はすべて一般財団法人国際教育振興会に所属します。但しNHKが放送用に録音・録画した制作物の著作権および編集権はNHKに帰属します。
注記:なお、出場者全員のスピーチが放送されるとは限りません。またスピーチが編集される場合もありますので予めご了承下さい。
- ④広報での使用に関して:
本大会の出場者の氏名、国籍、所属(学校名、勤務先など)、写真などは大会のプログラム、宣伝用のチラシ、主催者・後援団体のWEBサイトを通じて事前に発表いたします。本大会出場者全員のスピーチ映像を主催団体のWEBサイトに大会終了後、公表を予定しております。
- ⑤個人情報の取り扱いについて:
応募者ならびに出場者の方々の個人情報は「外国人による日本語弁論大会」の実施目的のために使用します。主催者、後援協賛団体以外の第三者に許可なしに個人情報を渡すことはありません。

〈大会に関する問い合わせ先〉
一般財団法人国際教育振興会
〒160-0004 東京都新宿区四谷1-21
電話 03-3359-9620 FAX 03-3353-8908
URL : <http://www.iec-nichibei.or.jp>
E-mail: benron@iec-nichibei.or.jp
月～金曜日 9:00～17:00

PURPOSE

For the development of a more prosperous world, a definite need exists to deepen mutual understanding by transcending nationality and cultural differences based on the exchange of constructive opinions. The purpose of this contest is to afford the opportunity to the peoples of all the countries of the world familiar with Japanese society and culture to present opinions in the Japanese language, and to provide the forum for all to obtain fresh viewpoints in search of the proper role for Japan and other countries in our global society. Based on this, the contest is held to contribute to the spreading of peace among peoples.

ESSENTIAL INFORMATION

1. Date & Place

Saturday, May 24, 2014 (from 1:00 p.m.)
Plover Hall in Matsue City general culture center
6-5-44, Nishi-tsuda, Matsue City, Shimane 690-0017
<http://www.web-sanin.co.jp/matsue/plover>

2. Subject & Time Limit

Any non-commercial, non-religious topic, unpublished
Time limit : 6 minutes

3. Qualifications

Applicants must fulfill all of the following conditions:
1) native language other than Japanese
2) 15 years of age or older on the contest day
3) not having won the 1st Prize, the Foreign Minister's Award, or 2nd Prize, the Education Minister's Award, in a previous contest

4. Judging Criteria & Judges

- The judges will evaluate each speech according to the following criteria:
- 1) SUBJECT CHOICE
Does the subject have universal appeal? Is it timely? Is it important?
 - 2) SUPPORTING MATERIALS
Are sufficient evidence and convincing arguments provided?
 - 3) ORGANIZATION
Are a creative viewpoint and way of thinking adequately expressed? Is the subject logically and effectively presented?
 - 4) LANGUAGE
Is the language clear, correct and appropriate for the subject? Are the pronunciation, intonation and grammar suitable?
 - 5) PRESENTATION
Is the presentation natural, impressive and convincing including facial expressions, gestures, etc.?

5. Contestant Selection

Contestant selection will be made according to the evaluation of the applicant's recorded speech and accompanying manuscript. The evaluation will be made at IEC in accordance with the aforementioned judging criteria from 1 to 4, and a notice will be sent to all applicants by the end of April 2014. The number of contestants shall be limited to 10 to 12.

6. Application & Deadline

- Applicants must submit the following:
- 1) Completed application form. (Please download the application form from the IEC website.)
 - 2) Your speech on a DVD disk, a SD card, a USB file storage, etc.
 - a. First state your name and the title, then begin your speech.
 - b. Be sure that your speech is no longer than 6 minutes.
 - c. Only one speech may be recorded on one disk.
 - d. Record your frontal face as you make the speech.
 - e. For recording in DVD-Video format, please finalize it without protecting it to make a copy of the content when you finish recording.
 - f. Please select .wmv, .mov, .flv, .mpg(.mpeg) as a file extension mark when you record your speech by using web camera or smartphone.
 - g. Applicants who do not have access to visual recording devices may submit voice recordings.

- 3) Speech manuscript: A-4 size paper; one copy; may be typed or handwritten.
- 4) 1 identifiable full-face 3cm x 4cm picture: Write your name on the back of the picture before affixing it on the application form
*Be advised to make an extra copy of your application for your own record.

[Send to]

International Speech Contest in Japanese
International Education Center
1-21 Yotsuya, Shinjuku-ku, Tokyo 160-0004
[Deadline]
Thursday, April 10, 2014

No applicant may apply to make more than one speech. Also, applicants may not change the content of their speeches before or at the speech contest. Minor changes for unsuitable words or corrections for factual errors are permitted, but applicants must inform those in charge of the speech contest of any such changes beforehand.

7. Awards

- 1st Prize—Foreign Minister's Award
Certificate & Trophy
- 2nd Prize—Education Minister's Award
Certificate & Trophy
- 3rd Prize—Special Award by Three Sponsors
Certificate & Trophy
- Audience-Judged Award
Certificate & Trophy

*All contestants participating will receive some gifts in honor of the occasion provided by co-sponsoring companies.

8. Expenses & Accommodation Arrangements

Sponsors will pay long distance transportation costs for contestants outside of Matsue City. Sponsors will not pay transportation costs for taxi rides. Sponsors will pay the sleeping accommodations for all contestants.

9. Other Information

- Copyright
-The copyright of the contest speeches shall be held by the International Education Center. However, the copyright of the contest video recording and the editing rights for the sound and visual recordings shall be held by NHK. Accordingly, all speeches may not necessarily be aired, and some parts of speeches may be deleted.
- The name, the nationality, affiliation (school name or company) of those who participate in the contest, and pictures and speech manuscripts, etc. may be made public on the contest web site, in advertisements and to those who sponsor or support the contest, and in the sponsor magazines, annual reports, website, etc.
- Personal Information
Regarding the handling of personal information,
-The personal information of all contestants will be used for the purpose of carrying out the "International Speech Contest in Japanese".
-We will not pass personal information to a third party other than those who sponsor or support the contest without permission of the contestants.
- For further details
-International Education Center (<http://www.iec-nichibei.or.jp>)
e-mail: benron@iec-nichibei.or.jp
Tel:03-3359-9620 (9:00 a.m.- 5:00 p.m., Mon.- Fri.)